

文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方(その1)
(1 / 3) ■ 積の表し方① ■

文字と文字の乗法

★知識の整理★

1枚 a 円の切手を n 枚買うときの代金は、

$$a \times n \quad (\text{円})$$

しかし、文字を用いた式では、 \times の記号は書かない約束になっています。

この約束にしたがって答を求めると、

$$a n \quad (\text{円}) \quad (\text{「エイエヌ円」と読みます。})$$

文字のまじった乗法では、 \times の記号をはぶきます。

きまり① 文字の乗法では、 \times の記号をはぶく

$$(1) a \times b = a b \quad (2) a \times b \times c = a b c$$

きまり② 文字の乗法では、文字をアルファベット順に書く

$$(1) b \times a = a \times b = a b \quad (2) b \times c \times a = a \times b \times c = a b c$$

きまり③ () をそのままの形で1つの文字として書く

$$(1) (a + b) \times c = (a + b) c \quad (2) a \times (b - c) \times d = a (b - c) d$$

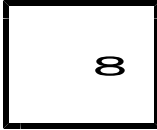
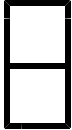
$$(3) c \times (b + a) = c (b + a)$$

* () 内の和は、アルファベット順にする必要はない。

* () 内の文字と、その外の文字の関係もアルファベット順にする必要はない。

【注意】

($a + b$) \times c は、($a + b$) c までで止めておきます。
ここでは、分配法則を使って () をはずし、 $a c + b c$ という形まで書く必要はありません。
分配法則を使って () をはずすことは後で学習します。



文字と式 1・文字を使った式

2 文字を使った式の表し方 (その1)

(2/3) ■ 積の表し方① ■

◇ 《文字と文字の積》 **学力化** → / .

----- ★理解のチェック★ -----

次の式を、×の記号をはぶいて書きなさい。

- (1) $m \times n$ (2) $p \times q \times r$ (3) $c \times b$
 (4) $h \times g \times r$ (5) $y \times (a + b)$ (6) $(a + b) \times (c + d)$
 (7) $c \times a \times (c - d) \times (a + b)$

【考え方】「文字と文字の積の表し方」の3つのきまり→No.8(1/3) 参照

[考える手順]

[答 案]

1 ×を省略する

$$(1) m \times n = \quad (2) p \times q \times r =$$

1 ×を省略する

$$(3) c \times b = \quad (4) h \times g \times r =$$

2 abc順に並べる

$$= \quad =$$

1 ×を省略する

$$(5) y \times (a + b) = \quad (6) (a + b) \times (c + d) =$$

1 ×を省略する

$$(7) c \times a \times (c - d) \times (a + b) =$$

2 abc順に並べる

$$=$$

【注意】()の使い方

$$c \times (b + a) = c (b + a)$$

のように()の中を見ないで、()全体を1つの文字として、使います。

